



【野田政権考】慰安婦記念碑建立を阻止せよ

2011.10.31 09:57

一見小さな出来事のようにも、政府がただ腕をこまめに見ているだけだと、日韓関係に取り返しのつかない禍根を残す計画が韓国で進んでいる。

元慰安婦援団体の「韓国挺身隊問題対策協議会(挺対協)」がソウルの在韓日本大使館前の路上に「記念碑」建立を計画し、ソウル市が許可したため12月にも設置される問題だ。

碑は慰安婦を象徴する高さ約120センチの少女の像の隣に空席の椅子が並ぶデザインだ。挺対協は毎週水曜日に日本大使館前で集会を開き、民主党の岡崎トミ子元国家公安委員長もかつて参加した慰安婦問題糾弾集会が1000回を迎える12月14日、除幕式を実施する意向だという。

だが、日本の軍や官憲が強制的に女性を集めた証拠は、政府が国内外の公文書館や関係省庁に八方手をつくして調べても一切見つからなかった。

挺対協は勤労働員された女子挺身隊と慰安婦を意図的に混同し、悲劇を演出しようとしているが両者は全く別物だ。貧困のため親に売られたり、悪質な業者にだまされるなどして意に反して慰安婦となったりした女性はいたらうが、それを日本軍のせいにするのは筋違いだ。

こうした歴史的事実を踏まえ、記念碑建立をやめるよう訴える機会が19日の日韓首脳会談だった。ところが、野田佳彦首相は会談後の共同記者会見で「慰安婦問題は出なかった」と述べ、韓国側がテーマとして持ち出さなかったこと自体が成果であるかのように胸を張った。

「いっそ記念碑建立予定の大使館前の路上にドラえもんやガンダムの像を100体ぐらい建てようか。とにかく記念碑を建てさせなきゃいいんだから」

記念碑建立取りやめを韓国側に働きかけている外務省筋はこんなヤケクソ気味のアイデアを披露する。韓国における日本の象徴である大使館前に史実と反する少女の強制連行を表した記念碑が建てば、日本は「性奴隷(セックススレイブ)の国、日本」であることを受け入れさせられた形になる。当然、日本国民の対韓感情は「そこまでやるのか」と冷え込むことだろう。

政府は情報公開を

歴史問題ではいつも、自分と同調者だけが良心的で立派だと信じ込む謝罪マニアや、その場しのぎの問題先送り主義者が問題を複雑化させてきた。

「野蛮な行いをしながら公式な謝罪をしていないのは日本の国会議員として恥ずかしい。帰国したら慰安婦問題を広める」

今月12日の挺対協の集会には社民党の服部良一衆院議員が参加し、こう発言している。こうしたタイプの人にとって、韓国側が主張する慰安婦の強制連行説は、いくら根拠が薄かろうと反証があろうと疑って

はいけないドグマなのだろう。

また、慰安婦募集時の日本軍・官憲の関与の「強制性」を政治判断で認め、国際社会にそれを広めてしまった1993(平成5)年の「河野洋平官房長官談話」の罪もとてつもなく重い。

「女性が強制的に連行されたものであるかは、文書、書類ではなかった。本人の意思のいかんにかかわらず連れて来い、という命令書は存在しなかった」

河野氏自身が後にこう認めているのである。韓国政府の要請に安易に応じ、姑息(こそく)に出されたこの政府談話によって、日本の国際イメージはどれほど損なわれ、問題を長引かせることになったことが計り知れない。

結局、河野談話の根拠は韓国での元慰安婦16人への聞き取り調査だけだった。これも談話作成にかかわった石原信雄氏(当時官房副長官)が「裏付け、本人の親に会うとか当時の関係者に会うとかそういう手段はない。もっぱら本人の話の聞くだけだ」と証言している。

私はかつて、この聞き取り調査について外務省と内閣府に情報公開請求を行ったが、ともに「元慰安婦たちのプライバシー」を理由に却下された。だが、プライバシーを保護しながら情報公開する手段もあるはずだ。日韓関係の正常化のためにもすべてを白日の下にさらすべきだ。(政治部 阿比留瑠比)